

## 熊谷基地さくら祭で自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部は、四月五日（日）航空自衛隊熊谷基地で行われた「さくら祭」で広報活動を実施した。ブルーインパルスの展示飛行が行われることもあり、約一万人の来場者で基地内は大変賑わった。

八百本あまりの桜が満開の中、航空自衛隊のCH-47J輸送ヘリコプターの展示飛行や航空中央音楽隊、入間基地修武太鼓、基地軽音楽部による演奏でお祭りに花を添えた。なかでもブルーインパルスの展示飛行は五年ぶりということもあり、大空に描いた大きな「サクラ」などの演目で大観衆を魅了した。展示飛行終了後は埼玉地本のブースを使用し、ブルーインパルスの搭乗員によるサイン会等を実施したが、多くのファンのサインや写真撮影を求める行列が長く続いた。

埼玉地本のキャラクター「サイボン」も三兄弟で参加し自衛隊をPRした。「かわいい！」等の声をかけられ、一緒に写真撮影を求めると感じられた。サイボンの知名度が広がっていると感じられた。埼玉地本は今後も地域に密着した広報活動を実施し、自衛隊への理解促進に尽力していく。



## カスリーン公園結婚式に協力

自衛隊埼玉地方協力本部は、四月五日（日）加須カスリーン公園スカイパークで行われた結婚式の開催にあたり、参加者募集等の協力をした。この結婚式は「この地を埼玉の恋人達の聖地にしよう」を目指している加須カスリングライダークラブ（平成二十六年度及び二十五年年度二年連続当クラブより航空学生一名が合格・入隊 過去にも四名合格・入隊）が主催したものである。

当日はあいにくの雨模様であったが四組のカップルが合同で結婚式を挙げ、そのうちの二組は自衛官、制服姿と純白のウェディングドレス姿は凛としてとても美しかった。ご家族、ご親族、友人、地域の皆様の参列のなか厳粛に執り行われ、色とりどりの花で飾られた真っ赤なバージンロードを歩くと花嫁はみな最高の笑顔を見せてくれた。

誓いの言葉、指輪の交換につづき、桜の植樹が行われた。この桜は「こいざくら」の愛称で呼ばれており、結婚式にふさわしい植樹となった。これからの人生を共に歩いていく二人と同様、しっかりと地に根を張り、やがて美しい満開の花を咲かせてくれる事を期待して止まない。

埼玉地本は今後も埼玉県内のイベントに積極的に参加して、自衛隊への理解促進に一役を買っていきたいと考えている。



## 第二十二回ミリタリーJEEPミーティングで自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部は、四月十二日（日）利根川河川敷で行われた「第二十二回ミリタリーJEEPミーティング」で広報活動を実施した。このミーティングは日本ミリタリーウィークル協会埼玉北部方面会代表を務める上里町募集相談員の相川武義氏の主催で開催されており、全国の会員が自慢の軍用車で集まった。軍用車の収集保存等を通じて自動車文化の発展に努める活動を行っている協会ということもあり、会員の多くや参加者には自衛隊のファンが多く、埼玉地本のブースで行った陸海空各自衛隊の職種説明や募集案内、災害派遣の写真パネルの展示には、たくさんの方で賑わった。

埼玉地本は今後も地域のイベントに参加し、積極的に募集基盤の強化につなげていきたいと考えている。

